

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	再生不良性貧血に対する同種移植において、移植前処置ならびにドナータイプが混合キメラ・二次性生着不全に与える影響
	研究目的	二次調査によって成人再生不良性貧血に対する同種移植後の混合キメラ・二次性生着不全（donor 型 aplasia を含む）について詳細な情報を集め、これらの発症率を求める。また移植前処置やドナータイプ、移植後免疫抑制剤の使用方法が混合キメラ・二次性生着不全発症に与える影響を検討するとともに、治療方法やその有効性についても併せて検討していく。
	研究期間	2016年11月17日から2019年3月31日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	金森平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	慶応義塾大学病院（森 毅彦）